

「元気とやま創造計画アクションプラン(R5年度版)」

政策の柱	安心とやま	政策名	25 地域公共交通の維持活性化と新たな展開
政策目標	県民の生活を支える身近な公共交通サービスが安定的に確保され、高齢者、障害者など誰もが安全で快適に移動できていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R5予算額
(1)総合的な地域公共交通体系の構築の推進	■関係者間の協議の推進 ・【新】地域交通戦略策定事業 持続可能な公共交通の確保に向けて、法定計画である「富山県地域交通戦略」を策定	20,000
(2)地域公共交通ネットワークの維持活性化	■域内交通 ・地域内フィーダー系統確保維持費補助金 地域間幹線バス路線等と密接な地域内のフィーダー路線のうち、過疎地域等の移動確保等に必要要件を満たす路線に対する支援 ・生活路線運行費補助金 生活路線として維持していく必要性が高い民営バス路線の運行欠損額に対して、市町村を通じて補助 ・市町村運行バス路線対策費補助金 地域住民の生活に重要な役割を果たしている市町村コミュニティバス路線の運行欠損額に対する補助 ・NPO交通空白地バス路線支援事業 交通空白地域においてNPO等が運行する住民生活に重要な役割を果たしているバス路線の運行欠損額に対して、市町村を通じて補助 ■域間交通 ・地方バス路線運行維持費補助金 地方住民の生活上欠くことのできない広域的・幹線的な民営バス路線維持のため、当該路線の運行欠損額に対する国との協調補助 ・城端線・氷見線活性化調査等事業(再掲) 城端線・氷見線の交通体系について、利便性・快適性向上を図るための調査・検討を実施 ・城端線・氷見線活性化支援事業(再掲) 城端線の増便試行に対して支援 ■広域交通 ・新幹線アクセス路線バス等運行支援事業 新幹線駅と主要駅等を結ぶバス路線の運行経費に対して支援 ・高山本線利用促進PR事業(再掲) 高山本線強化促進同盟会において利用促進事業を実施 ■交通環境の整備 ・富山県並行在来線経営安定基金補助金(再掲) あいの風とやま鉄道が行う乗継割引の実施等に伴う支援 ・【新】北陸三県連携鉄道利用促進事業(再掲) 北陸新幹線の敦賀開業に向けて、北陸三県が連携したキャンペーンを実施するなど、並行在来線の利用を促進 ・【拡】富山地方鉄道安全性・快適性向上事業 富山地方鉄道による鉄軌道の安全性・快適性の向上を促進するため、市町村と連携して支援を強化 ・万葉線ICカード導入支援事業 万葉線における交通系ICカード設備の導入に対し、沿線市と連携して支援 ・公共交通活性化総合対策事業等 市町村、事業者等が主体的に取り組む公共交通活性化事業に対する支援(パークアンドライド駐車場整備、バス停設置、車両ラッピング等) ・【拡】富山県MaaS環境構築事業 移動サービスの利便性向上のため、県内のMaaS(Mobility as a Service)環境を充実 ・デジタル技術を活用した公共交通情報提供強化事業 とやまロケーションシステムのバス運行情報を表示するデジタルサイネージの導入等を支援 ■関係者の連携による取組みの推進 ・ノーマイカー運動の実施 県民に公共交通の利用を呼びかけ、マイカーに依存した生活の見直しを促進	11,053 101,335 92,978 8,664 103,129 5,000 33,268 4,000 300 592,334 5,000 168,634 42,000 13,367 20,000 5,000 2,000

(3)地域のニーズに対応した公共交通サービスへの支援	■低床車両の導入支援 ・低床バス導入加速化事業 低床バス導入を加速化するため、バス事業者の中古低床バス購入を支援	3,000
	■地域のニーズと実情に応じた公共交通サービスへの支援 ・【拡】新モビリティサービス等推進事業 地域の移動を支える新たなモビリティサービスの導入を支援	35,000

<参考>

活動指標

指標名	現況 R3年度	目標		指標の説明
		R3 (2021年度)	R8 (2026年度)	
バスロケーションシステムを導入している事業者数	16	16	16	バスロケーションシステムを導入している市町村及び交通事業者の数
公共交通活性化総合対策事業数累計	266	233	283	市町村及び交通事業者が実施した公共交通活性化総合対策事業の累計
ノンステップバス導入率	75.0%	70%	80%以上	民営乗合ノンステップバスの導入割合